

一般質問

11月

知りたい！
聞きたい！



田中豊文 議員

送水管破断事故の 原因究明について

問 今年1月の大島大橋送水管破断事故についての報告は全く納得のいかない内容であり、再発防止や今後の対策を行うために、原因究明をうやむやな形で終わらせることはできない。設計たわみ量が許容値をクリアしていない事実も明らかになり、設計・施工上の原因も否定できない状況にあって、原因調査をメーカーに任せず、公平公正な検証のため、町として総合的検証組織を立ち上げる必要があると考えるが、町長の認識を問う。

答 調査報告書についてはこれで結論という訳ではなく、引き続き調査と原因究明を柳井広域

水道企業団に求めていくと共に、独自の現地調査なども検討したい。

図書館システムについて

問 図書館システムについて、入札における予定価格の積算方法、更新されたシステムの主な改良点について問う。また、管理者情報やプライバシーポリシーが掲載されておらず速やかな改善を求める。

答 既存の業者からの見積りを徴収して予定価格の参考とし、ハード面ではシステム全体を更新し、ソフト面では検索機能を



▲ 図書館システム端末

強化した。

管理者情報等の掲載については、今後、修正対応していく。

米軍機騒音の実態把握について

問 3月議会一般質問での「騒音測定器の設置については国へ要望していく」という答弁について、その後の要望の実態について問う。また、艦載機移駐に伴い、明らかに騒音に対する苦情が多くなっており、町民の安心安全を守るために主体的な情報収集が必要と考えるが、艦載機移駐を容認した町長の見解を問う。

答 中国四国防衛局への口頭要望や山口県基地関係市町連絡協議会からの要望項目において要望している。騒音の実態把握を国に求め、騒音に対する町民の負担・不安の解消に取り組む。

指定管理料の取扱いについて

問 指定管理者の撤退に伴い発生した指定管理料の剰余金は元指定管理者である団体に帰属するという規定はなく、町に返還させるべきだと考えるが、平成

29年度末で撤退した陸奥記念館等及び久賀歴史民俗資料館等の各指定管理者に関する剰余財産の取り扱いについて問う。

答 陸奥記念館等において227万円、久賀歴史民俗資料館等で91万円の剰余金が発生している。指定管理において発生した収入は指定管理者のものでするという協定に基づき、撤退した団体のものとするができる

補助金のあり方について

問 町が運営する民間団体への補助金のあり方について、補助金の額は誰がどのような基準により積算し誰が補助金の額を決定するのか、補助金による成果の検証は誰がどのような方法で行い、その検証結果がどのような事業や次年度以降の補助金に反映されているのかを問う。

答 十分な審査・検査により補助金を確定している。事業の見直し・廃止を含め社会情勢の変化や財政健全化の観点からも創意工夫による自立促進への助言・指導を行っている。